

創業 30 周年記念号



アイケー通信



横田好雄

すべてのお客様とスタッフ
に心から感謝申し上げます
更なる成長に向け精進いたし
ます

高居元次

さらに 40 年 50 年
と将来を見据えた成
長を続けて参ります

中村悟

決意新たに今後 20 年 30
年続く会社になりたいです

白石弘子

祈、アイケーの繁栄！
思い描くことができたら
後は実現するだけ

船附浩

生きてるだけでもうけもの！
どうせなら笑って過ごそう！

長野博昭

皆様に支えられ 30 年を迎
えることができました。
これからもチームワーク
を大事に皆で力を合わせ
て前進して参ります

安井要

お客様に育てていただいて
三十年に感謝いたします。
今後もお客様にベストなサ
ービスを提供致します

安井慎治

30 周年を迎え、今後とも
より一層お客様とともに歩
んでいく所存です

高居哲也
“日進月歩”

これからもお客様の
お役に立てる情報をお
届けします

藤原由加

入社して 1 年余りですが、
30 周という節目に携われて
光栄です

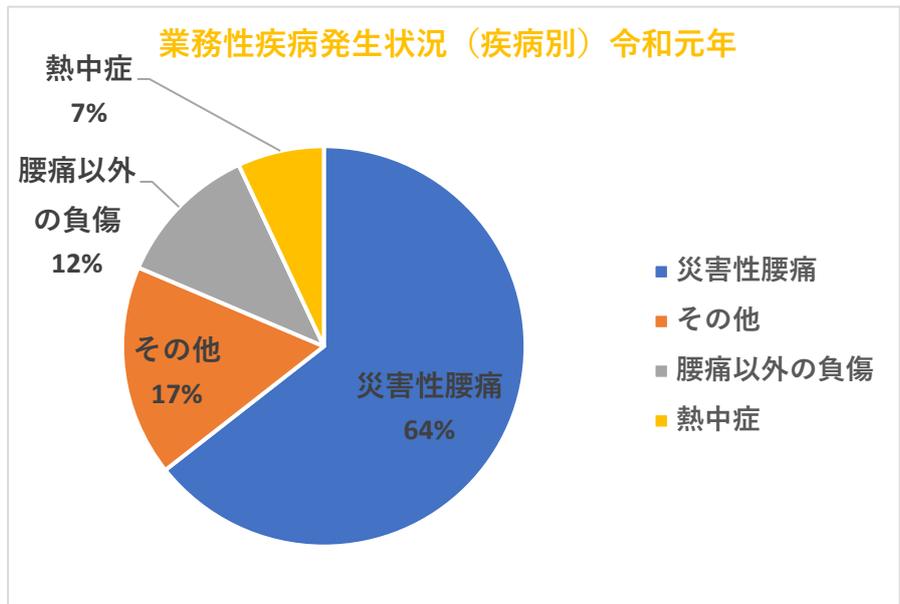
白石恵

30 周年の節目に当たって、
気を引き締めて頑張ります！

裏面へ続く

健康経営

あなたの会社の貴重な資産である「ヒト」。従業員の皆さんがいつも元気で、高いパフォーマンスを発揮して働いてくれることが会社の成長と発展につながります。しかし、1日のうちの多くを過ごす職場では、様々な要因で健康を損なう可能性があり、経営者としては、その原因をあぶり出し、極力排除する責任があります。今回は、従業員の皆さんの「健康リスクについて」考えてみましょう。



○腰痛はどうして起こる？

腰痛が起こりやすい作業としては、重量物の上げ下ろし、長時間の立ち・座り作業、介護、看護、車両運転の作業が挙げられます。これらの作業が行われる環境・姿勢・動作を改善することで発生確率を下げるのが可能です。例えば、重量物の上げ下ろしに関しては身体を対象物に近づける、身体のひねりを少なくする、補助器具を使用するなど、立ち座りについては長時間同じ姿勢をとらない、机やいすの高さを調整するなど、ちょっとした工夫が腰痛発生の予防につながります。

○「労災事故は保険でカバー」だけでなく、起きないための取り組みを！

今回は最も発生頻度の高い腰痛を例に挙げましたが、労災は腰痛以外にも熱中症やケガ、脳・心臓疾患メンタル（精神障害）などさまざまです。発生に備えて保険加入も大切ですが、何よりも従業員の皆さんがそのような状況に陥らないような対策を講じることがまず優先されるべきでしょう。

会社がそのような対策を講じていることを従業員の皆さんが知ることで、職場の雰囲気も良くなり、目標に向かって一丸となれる効果も期待できます。

《代理店伝言板》

昭和 63 年（1988 年）AIU 保険会社の代理店研修生からスタートして、インシュアランス・カミタニからアイケーへと 35 年間の歳月が過ぎました。年齢も 8 月で 75 歳と後期高齢者になります。年齢もそうですが、体力の衰えも著しく、区切りとして 8 月で退職することになりました。今日までのご支援、ご厚情誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

今後は社長の横田を先頭にアイケー社員全員が一丸となって、全力で皆様方のサポートをさせていただきますのでご安心ください。

長い間ほんとうに有難うございました。

神谷 道規